

中部様式1

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 下呂市地域公共交通会議

平成18年12月27日設置

フィーダー系統 平成 年 月 日 確保維持計画策定

## ■ 地域の特性と背景

- 人口約33,000人、高齢化率約38%（H29.3）と高く、人口減少、少子高齢化が進行。
- 市内は、合併により萩原、小坂、下呂、金山、馬瀬の5地域で形成。
- 公共交通は、JR高山本線、濃飛バス、げろバス（デマンド含む）、まめなカー、タクシーで構成。

## ■ 経緯

- 平成20年4月 自主運行バスのコミュニティ化、デマンドバスの運行等を実施
- 平成24年3月 下呂市公共交通計画（計画期間H24年度～28年度）を策定
- 路線の見直し等を実施してきたが、公共交通の利用者は減少傾向。計画期間終了のため、下呂市地域公共交通網形成計画を策定中

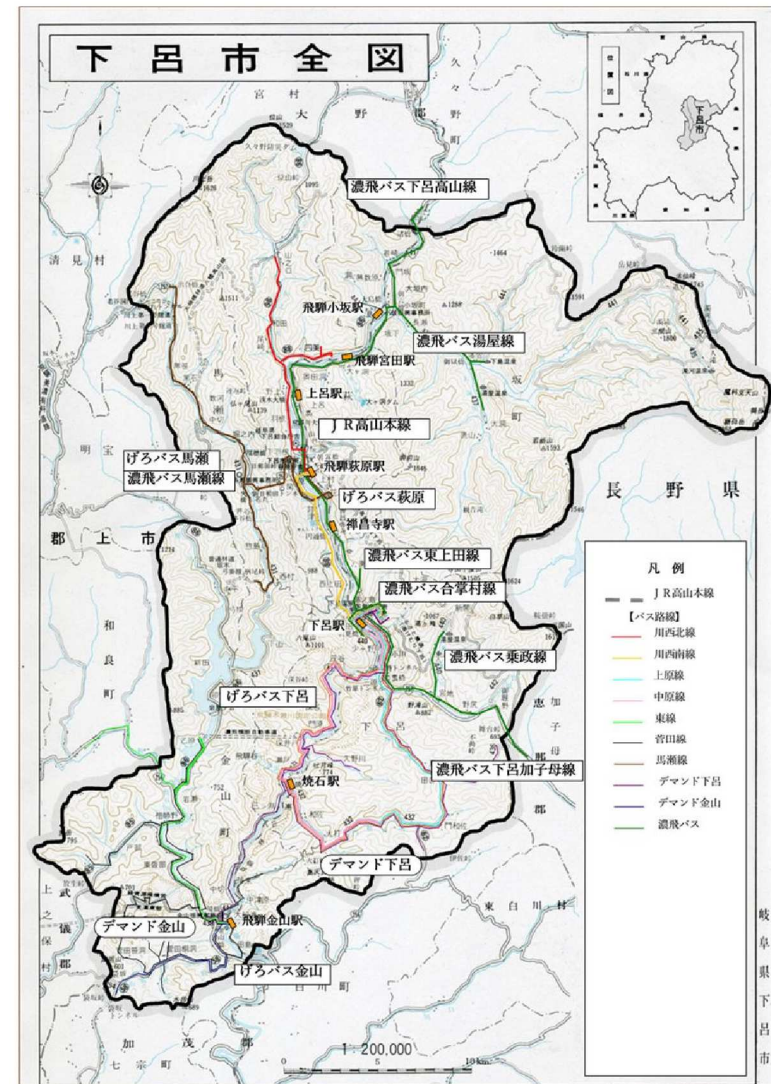
## ■ 地域公共交通の目指す姿（網形成計画策定中）

### 【基本方針】

- ①広域及び市内の拠点相互と地域間をつなぐ公共交通網を形成する
- ②地域特性にあった多様な交通手段・運行形態により持続可能な公共交通を構築する
- ③市民ニーズに応じて、柔軟な方法で交通サービスを提供する
- ④地域づくりの中で多様な施策を進める

【期間】 2018(平成30)年度～2022年度の5年間(予定)

《現況公共交通ネットワーク》



### ■公共交通網評価の基本的な考え方【検討中】

- 網形成計画に示した基本方針・目標に対応した評価指標を設定し、達成状況进行评估
- 実施事業の状況を評価

基本方針	目標	評価指標	備考
基本方針 1 広域及び市内の拠点相互と地域間をつなぐ公共交通網を形成する	市内外を結ぶ運行サービスの維持・強化	市外との運行便数	
基本方針 2 地域特性にあった多様な交通手段・運行形態により持続可能な公共交通を構築する	公共交通の満足度の向上	市民の満足度	総合計画の指標を参考
	下呂市の費用負担の軽減	下呂バス収支率	
基本方針 3 市民ニーズに応じて、柔軟な方法で交通サービスを提供する	新たなサービスによる利用者数の増加	新たな運行形態の利用者数	
		福祉パスポート等の利用者数	
基本方針 4 地域づくりの中で多様な施策を進める	地域との取組の進展	地域が参画した取組実施数	

### 3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

調査項目	目的	内容
市民アンケート調査	現状、潜在ニーズ、行政の取組に対する意見等の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 20歳以上の市民、2,000人</li> <li>● 郵送配布・回収</li> <li>● 回収数 1,017票（回収率50.9%）</li> </ul>
デマンド下呂・金山沿線住民アンケート	現状、運行方式の変更ニーズの把握（乗降場の増加）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿線の全世帯を対象 金山 881世帯、下呂 349世帯</li> <li>● 回収数 金山 438票（回収率49.7%） 下呂 197票（回収率56.4%）</li> </ul>
バス利用者アンケート調査	バス運行に対する評価と改善要望の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平日1日、利用者にアンケート配布・回収</li> <li>● 回収 695票</li> <li>● 対象路線 濃飛バス・げろバス：各7路線</li> </ul>
地域ケア会議でのヒアリング	高齢者の移動についての意見交換	高齢者の移動手段の現状と課題の協議
腎友会ヒアリング	人工透析患者の輸送	人工透析患者の輸送について意見交換
自治会アンケート（予定）	施策に対する意見の把握	自治会連合会等で意見交換
高校生アンケート調査（予定）	通学実態・公共交通への転換可能性等の把握	益田清風高校に在籍の市内1，2年生を対象にアンケート調査を実施
事例視察	運行形態の参考	白川病院通院送迎バス
公共交通会議	網形成計画の協議等	H29年度5回開催予定（4回開催済み）
分科会	事業内容の検討等	H29年度2回開催予定（1回開催済み）
庁内調整会議	方向性の共有・連携強化	地域づくり・福祉・観光・教育関連部署との調整会議を計8回開催

#### ■ 課題の整理

- 広域移動への対応
- 市内の拠点へ行きやすい、目的にあった公共交通の構築
- 地域特性にあった効率的な運行形態の実現
- 福祉・教育・観光施策との連携・役割分担の明確化
- 地域との協働による公共交通維持のしくみづくり

#### ■ ネットワークの形成方向（検討中）

- 市外と連絡する幹線交通（JR、濃飛バス）の運行維持
- 支線交通の運行形態見直し（湯屋線、東上田線、乗政線、馬瀬線）
- デマンド下呂・金山（ルート固定）の見直し（停留所増加等）
- まめなカー（福祉乗合型移動サービス）の区域拡大（小坂、馬瀬）
- スクールバス・保育園バスの利活用（混乗等）
- 小さな拠点事業と連携したバス再編

（具体的な再編内容については、平成30年度に地域、関連部署及び事業者と分科会を開催し決定）

《ネットワークの形成方向図》



### ■ 計画策定事業の評価と課題

- 下呂市公共交通の実態、住民ニーズを把握することができ、課題を明確化。  
アンケート調査については50%を超える回収率となり、量・質を確保。
- 公共交通会議の下部組織である分科会や個別ヒアリング等で、住民（自治会）、交通事業者、福祉関係者等の意見を把握。
- 現在、公共交通ネットワーク、目標と指標、実施事業内容の素案を策定中。

➡（課題）具体的な路線再編内容については、地域・交通事業者との協議に時間を要するため、平成30年度の1年間をかけて具体化。その上で、網形成計画を策定。

### ■ 今年度の取組に対する評価と課題

- 下呂市庁内や交通事業者等との協議・調整により、庁内の各部署が連携・一体となって交通施策に取り組む体制ができつつある。（関係部署間の連絡調整会議等を開催済）

➡（課題）関係部署との連携を強化し、具体的な路線再編、施策につなげる。

### 《調査事業に関する課題》

- 具体的な路線再編内容については、地域・交通事業者との協議に時間を要するため、平成30年度の1年間をかけて具体化。その上で、網形成計画を策定。

### 《今年度の取組に対する課題》

- 関係部署との連携を強化し、具体的な路線再編、施策につなげる。

### 【対応方針】

- ①平成30年度に、地域ごとの具体的な再編・施策についての協議を行い、その結果を含めて網形成計画を策定予定
  - ・地域ごとに住民との意見交換会等を開催
  - ・地域代表、交通事業者、関連部署が参加する分科会において、具体の再編・施策内容等を協議し、実施計画を作成
- ②金山地域で進められている小さな拠点づくりと連携した再編等については、他地域への拡大を図る

【平成29年12月21日の地域公共交通会議及び平成30年1月17日の書面決済により協議】

中部様式2

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 下呂市地域公共交通会議

平成18年12月27日設置

フィーダー系統 平成 年 月 日 確保維持計画策定



直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
なし		

### 《庁内の調整会議を開催し、関係部署間の連携を推進》

- ・ 庁内の関連部署、振興事務所が参加する調整会議を計8回開催し、公共交通の現状や今後の方向性について共有
- ・ 今後も、網形成計画の作成、施策の実施に向けた協議等を行っていく予定であり、庁内が一体となって公共交通に取り組む体制を構築

### 《分科会で事業化を見据えた意見交換・調整を実施》

- ・ 公共交通会議の下部組織として、交通事業者・自治会代表による分科会を設置
- ・ この場で事業の実施に向けた取り組み方法や地域住民等への説明方法などについて協議を行っており、効果的な事業推進体制を構築

### 《把握したい内容や目的に対応したアンケート調査・ヒアリングを実施》

- ・ 潜在ニーズや交通施策についての考え方については「市民アンケート調査」、公共交通利用者による評価は「利用者アンケート調査」、デマンドの見直しにむけては「デマンド沿線地区世帯へのアンケート調査」等、目的を絞って調査を実施
- ・ 各々のアンケートで、50%を超える高い回収率となり、市民の意見、意向を把握
- ・ 高齢者等の移動についての現状と課題等については、地域のケア会議や腎友会とのヒアリングなどを実施し、生の声を把握

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成30年 1月17日

協議会名: 下呂市公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
【各路線の現状と周辺地域の取り組み把握及び利用状況調査(OD調査)】 ①下呂市の地域特性、公共交通の運行実態等を整理するとともに、濃飛バス・げろバス全路線について、平日の1日、始発から終発までの乗降調査を実施。 ②市民アンケート調査 2,000人に配布、回収1,017票(回収率50.9%)。	A	適正に実施。市民アンケート調査については、回収率が50%を超えており、市民の意見、ニーズを把握できた。	地域公共交通網形成計画に反映。
【各地域のニーズ調査】 ①利用者ニーズ調査 濃飛バス・げろバス利用者アンケートを実施。 回収数695票。 ②デマンド下呂・金山沿線住民アンケート 沿線の全戸数に配布(金山881世帯、下呂349世帯)。 金山50%、下呂56%の回収率。 ③地域ケア会議、腎友会ヒアリング ④自治会アンケート(実施予定) ⑤高校生合アンケート(実施予定)	A	適正に実施。アンケート調査の回収率は高く、バス利用者や高齢者等の意見、ニーズを把握できた。	地域公共交通網形成計画に反映。
【課題の抽出と上位計画等を加味した対応方針の検討】 現状把握、実態調査結果、上位関連計画及び下呂市公共交通計画の評価により6つの個別課題を抽出し、これを5つの課題に整理した上で、対応方針を策定した。	A	適正に実施。4つの方針に整理した。	地域公共交通網形成計画に反映。
【地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ】 案の作成にむけて、地域公共交通会議で素案の段階から議論を実施。平成30年3月に網形成計画(案)を作成予定。	A	適正に実施。計画案の作成にむけて協議を実施している。	H30年度に地域公共交通網形成計画(案)に基づく具体的な実施計画を、関係者との協議(分科会)により作成し、路線再編等に向けて取り組む。
【地域公共交通会議及び分科会の開催】 地域公共交通会議は、H29年12月までに4回開催。年度内に6回開催を予定。分科会は、12月までに1回開催。年度内に2回、平成30年度にも開催予定。	A	適正に実施。調査結果の提示、課題の解決方法の議論、利害関係者の意見調整、網形成計画(案)の策定の場となっている。	H30年度以降に、具体的な路線再編事業等の実施に向けた協議を行うとともに、地域公共交通網形成計画に基づいたPDCAを実施する。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年 1月17日

協議会名:	下呂市公共交通会議
-------	-----------

評価対象事業名:	計画策定事業
----------	--------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>■地域公共交通の将来像 『いつまでも笑顔がつづく持続可能な公共交通の確保』 鉄道・バス・タクシーのモードの特徴を活かすとともに、公共交通サービスの利用者と提供者の最適なマッチングによる効果的な運行形態により、下呂市民や観光客の足となる公共交通を確保し、市民が快適で豊かな生活を送れるようにする。 また、市民への積極的な利用促進や市民自らが参画するような仕組みづくりを行いながら、公共交通の維持に向けて官民一体となった取り組みを進めるとともに、人口減少時代にあった適切な財政投入により、持続性のある公共交通の構築を目指す。</p> <p>■基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①広域及び市内の拠点相互と地域間をつなぐ公共交通網を形成する</li><li>②地域特性にあった多様な交通手段・運行形態により持続可能な公共交通を構築する</li><li>③市民ニーズに応じて、柔軟な方法で交通サービスを提供する</li><li>④地域づくりの中で多様な施策を進める</li></ol>
-----------------------------	--

### 【地域公共交通会議及び分科会の開催】

地域公共交通会議は、H29年12月までに4回開催。年度内に6回開催を予定。分科会は、12月までに1回開催。年度内に2回、平成30年度にも開催予定。